

令和元年度台風15号の被害に対して救護班等を派遣しました。

9月5日に発生した台風15号は、関東地方では9日朝にかけて猛烈な風が吹き、雨が降りました。

神奈川県内でも停電や家屋損傷被害が発生したため、当院では院内に災害対策本部を設置して災害対応を行いました。

また、神奈川県内及び千葉県内に、救護班や災害医療アドバイザー等を派遣いたしました。

当院では、今後も防災訓練や研修に積極的に取り組み、災害が発生した場合には迅速な対応が取れるよう、日頃から関係機関と連携して準備を進めてまいります。

1 派遣状況

(1) 令和元年9月9日(月)

- ①派遣場所 神奈川県保健医療調整本部(神奈川県庁内)
- ②派遣職員 医師1名、調整員1名
- ③活動内容 神奈川県保健医療調整本部内での本部活動

(2) 令和元年9月13日(金)～9月16日(月)

- ①派遣場所 安房保健医療調整本部(安房地域医療センター内)
- ②派遣職員 救護班1班(医師1名、看護師3名、薬剤師1名、主事3名、神奈川県支部調整員1名、ボランティア1名)
- ③活動内容 安房保健医療調整本部での本部活動、安房地域医療センターの診療支援、安房地域の避難所・病院・特別養護老人ホーム等の訪問、被災地域の戸別訪問

(3) 令和元年9月16日(月)～9月18日(水)

- ①派遣場所 千葉県庁、安房保健医療調整本部(安房保健福祉センター内)、日本赤十字社神奈川県支部
 - ②派遣職員 医師1名
 - ③活動内容 各本部での医療コーディネート活動
-

2 活動状況



住民の方に被災状況や生活状況の聞き取り調査



町を歩き住民の方々から情報収集



避難所への段ボールベッドの導入



DPAT(災害派遣精神医療チーム)、JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)と合同で地域調査活動



日赤千葉県支部でのミーティング



活動終了後、帰着の報告